

仙台大学学生との意見交換 概要

■日 時：令和 6 年 11 月 19 日（火）13:45～14:45

■出席者：仙台大学

体育学部現代武道学科 阿部准教授、

同学科 3 年男子 6 名、同学部健康福祉学科 1 年女子 1 名 計 7 名

（うち県外出身 6 名）

山形県

大江スポーツ企画専門員、山川主査

■概 要：

○ 強くなるために必要だと思うこと

- ・ その競技を好きになることが大切だと思う。好きなら、楽しくなって練習を苦に思わなくなるし、練習した分強くなると思う。
- ・ この大学は、一人一人をちゃんと見てくれる指導者がいて、強い仲間・練習相手がいて、専用の練習場があるなど、環境は非常に恵まれているため、その分、自分の練習に集中できる。

○ 競技人口を増やすために必要だと思うこと

- ・ 中学校のときに、剣道の防具の費用一式を負担してくれるところがあった。経済的負担を軽減することで、競技をはじめのハードルが下がると思う。

○ 部活動改革（地域移行）について

- ・ 家庭環境等により参加できない子どもとの格差が生まれるのではないかな。
- ・ 地域に移行して、しっかりとした指導者が教えてくれるのであれば、生徒にとってもメリットがあると思う。
- ・ 専門外の顧問になれば、自分が教えるより、地域で教えてくれた方がいい。技術面は地域に任せ、教員はそれ以外の指導を行う、教員の仕事と地域の指導を組み合わせた形が理想的だと思う。
- ・ 技術指導できる人が近隣にいれば地域移行はスムーズに進むが、いない地域があるのが現実で、指導者がいる地域といない地域で、格差がどんどん生まれてしまう。今後は指導者の育成が重要になるのではないかな。

○ スポーツが世の中に与える影響、メリット

- ・ スポーツは、相手やチームメイトと顔を合わせ、その場その場でコミュニケーションを図る必要があり、人との関わりやコミュニケーションを学ぶ上でメリットがある。
- ・ スポーツをしている人の方がメンタル的にポジティブになるとの研究結果を見たことがあり、社会に出てから難しい問題に直面したときも、ポジティブに乗り越えることができると思う。
- ・ スポーツを通して自分を発揮できる人もいると思う。
- ・ スポーツをしている人は、年を取ってから歩けなくなるリスクが減るというのを見たことがあるので、健康の維持にも役立つと思う。